

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより

令和5年12月18日
第33号

参観授業（中学校…英語）

先週の木曜日（14日）に参観授業を行いました。今回は中学校の英語の授業を観ていただくことになりました。英語の授業では、英語文法の学習に関して習熟を深める場面でした。在籍するお子さんの学習箇所が異なるために文法の「現在進行形と過去形」の習熟を図る場面と、「現在完了形」の習熟を図る場面に分かれて、生徒はそれぞれ学習に励んでいました。

特に「現在進行形」の学習では、〈be 動詞＋動詞のing形 「～しています。」〉と表すことを基本に学習を進めていきます。例文を参考にしながら基本となる英文を疑問文に直したり、否定文に直したりしていきます。単純にingを付ければよい動詞もあれば単語によっては「e」を取ってingを付ける動詞や語尾の文字を重ねてingをつける動詞（例 run→running）も出てきます。

「現在完了形」の学習では、〈have [has] ＋動詞の過去分詞形 「ずっと～している。」〉を基本にし、過去に始まった状態が現在まで続いていることを表す英文の学習を行いました。英作文や日本語訳にする問題があったり、語句を並び替えて文を作ることや書き換えたりする問題にチャレンジしていきます。for や since を使い「持続」を表現する文を考えると、「for と since のどちらが適切なのか。」について、英文の意味から考える場面があるなど学びの楽しさを感じさせられました。

授業に励む子どもたちは、一つ一つ学んだことをしっかり身に付けようと頑張っています。分からないことがあっても諦めないで取り組もうとする姿勢に拍手を送りたいです！



ひまわり集会 準備活動 より



ひまわり集会で行うゲームで利用する、「鍋の具材」のイラスト描きをしていました。話を聞いてみると子どもたちも「鍋料理」は、いろいろな物を食べることができるので好きなようです。子どもたちの好きな鍋料理の傾向としては、お肉の具材が中心となる鍋料理が好きなようで「若さ」を感じました。今は、たくさんの種類の鍋料理があります。

そこで、子どもたちと鍋料理の話をしている中で「始まり…」という言葉が出てきたので鍋料理の歴史を調べてみました。

鍋料理の始まりは、縄文時代と言われています。縄文～弥生時代には食べ物を入れた土器を火にかけて煮炊きする習慣がありました。食べ物に火を通すことで、そのままでは硬くて食べにくい食材を刻んで煮て消化しやすい形にすることによって、栄養を余すことなく食べていたようです。それが江戸時代になると都市部では、持ち運びできる七輪の普及によって鍋を「煮込みながら食べる」というスタイルが登場しました。

北海道に視点を移すと、石狩市では市を流れる石狩川河口付近において江戸時代よりサケ漁が盛んに行われており、その地域の漁師たちが獲れた鮭をぶつ切りにし、鍋料理にして食したのが石狩鍋の始まりとされています。その鍋料理という文化が定着し、様々な具材の鍋料理の登場から現在に至っているとのことでした。奥が深いですね。このおたよりを読んでいただいている皆さんは、どんな鍋料理を食べますか。



クレヨンで絵を描いています。中学生にとっては、クレヨンを使うのは小学生以来です。色に味わいが出て、上手な絵に仕上がりました。

